

「あり方懇話会」から、
丹波市における自治協議会・役割の
今後の検討方向性

市民活動課 地域協働係

丹波市におけるまちづくり、自治協議会の取り組み

<これまでの経緯>

- 平成18年度 小学校区単位の地域づくり組織立ち上げ支援
- 平成19年度 **自治協議会**を設置
 - ・地域づくり交付金
 - 「健康」「環境」「教育」をテーマに含めた活動
- 平成23年度 **元気な地域づくり特別事業交付金**の創設
～平成28年度
 - ・地域づくり計画の策定及び元気な地域づくりの実現による地域活性化
- 平成28年度 地域づくり交付金要綱一部改正
～令和7年度
 - ・地域づくり計画位置づけられた活動に変更
 - ・**地域課題解決事業**の創設
- 平成30年度 **自治協議会のあり方懇話会**
～令和元年度
 - 【地域の課題】** 役員構成、組織体制、活動内容、合意形成のあり方
 - 【行政の課題】** 委員選出、情報発信先、住民協議の相手方の認識

地域づくり交付金

地域課題の解決を図り、かつ、市民による主体的な連携と交流の地域づくりを推進する自治協議会に対して地域づくり交付金を交付

- ▶ 地域づくり計画に位置付けられた活動

地域コミュニティ活動推進員

- ▶ 当該校区の実情に精通し、意欲を持って地域づくり活動を展開できる人材として、自治協議会が選任する者
 - 自治協議会の行う活動全般に係る企画及び立案事務
 - 自治協議会の活動に関し必要な行政機関、関係団体等との連絡調整
 - 地域づくりに関する情報の収集及び発信並びに研修会への参加
 - 地域づくりに関わる人材の育成
 - 自治協議会の庶務会計及び民主的な運営に関する事務（のちに削除）
 - 活動拠点施設の維持管理及び運営に関する事務（のちに削除）

自治協議会のあり方懇話会

- 自治協議会は、自治基本条例によって制度化されている。それぞれの地域で規模や活動の差異はあるものの、高齡化を伴った人口減少により担い手不足の問題を抱えている。
- 懇話会では、自治協議会に個人や自治会をはじめとする多様な団体が関わり、将来にわたり地域課題解決能力の向上を図るためにはどうすればよいかを検討。
- そもそも小学校区単位でなぜ自治協議会を作ったのか、自治会と自治協議会はどんな役割分担があるのか。
- 自治協議会の役割等に対する共通認識、合意形成を図るための考え方を整理することなどが必要である。

自治協議会の現状と課題（組織）

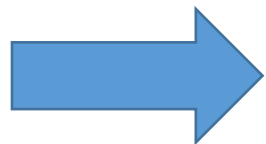
現 状	課 題
<p><u>担い手不足と高齢化により、<u>役員</u>の負担感が増している。</u></p>	<p><u>役割分担をして、<u>みんなで</u>取り組み負担を共有する仕組みが必要</u>である。</p>
<p><u>引継ぎが上手くできないことから、事業をこなすだけになってしまう。</u></p>	<p><u>ビジョンや方向性など、<u>組織全体</u>で引継ぎをし、<u>みんなで共有</u>することが必要</u>である。</p>
<p><u>決まった組織のみの構成</u>でなっていることから、役員などの人材の広がりが少ない。</p>	<p>やりたい人（若者・女性など）が入れる仕組みにより、<u>組織や団体にこだわらない仕組み</u>を作る必要がある。</p>
<p><u>意思決定の場に参加する機会が</u>少ない。情報発信しているが、<u>共通認識</u>されていないことがある。</p>	<p><u>誰でも参画</u>でき、意思決定の機会を設けること。<u>意思決定のプロセス</u>を含めた情報共有が必要である。</p>

自治協議会の現状と課題（活動）

現 状	課 題
<ul style="list-style-type: none">・ <u>役員がオーバーワーク</u>になっており、<u>創意工夫を行う余裕がないことから、事業を楽しむことができていない。</u>	<ul style="list-style-type: none">・ <u>事業をこなすのではなく、事業を洗い出し、目的や必要性を考慮して棚卸をする必要がある。</u>
<ul style="list-style-type: none">・ <u>行事中心の活動が多く、地域課題の解決へ向けた事業の展開が少ない。</u>	<ul style="list-style-type: none">・ <u>みんなで話し合い、必要とされる活動を積極的に展開する必要がある。</u>
<ul style="list-style-type: none">・ <u>主催する側が楽しいというモチベーションを保つことができていないため、参加者も増えない。</u>	<ul style="list-style-type: none">・ <u>参画を促すには、みんなで活動目的を共有し、必要とされる活動をみんなで決めて、実施する必要がある。</u>
<ul style="list-style-type: none">・ <u>毎年決まった活動や動員型の活動が多く、参加する側に主体性がない。</u>	<ul style="list-style-type: none">・ <u>やりたい人（若者・女性など）がゆるやかに参画できる仕組みや人を育てる仕組みを作る必要がある。</u>

住民参加の地域づくり

- 自治協議会に求められるもの
 - 地域でできることは、地域で担っていく意識
 - 自分たちの地域でできるものは何か、何をしなければいけないか考える
 - 地域の課題は地域で（自分達で）解決する仕組み（組織・制度）
- 自治協議会の役割
 - 地域が担う公共と地域課題への対応
 - 地域の意見取りまとめ、地域行事の調整



地域コミュニティ活動推進員が地域づくりのキーマン

地域コミュニティ活動推進員の現状

地域コミュニティ活動推進員が事務員・管理人化



地域のコーディネーターとして
社会教育の視点を持った人材の育成（配置）